

令和８年度　霧島市立中津川小学校　学校便り

令和８年10月発行

梅檀～せんだん

児童数（令和８年10月１日現在）男子６名 女子９名 計15名

ブログ　ホームページ

R8ｷｬｯﾁﾌﾚｰｽﾞ【　挨拶があふれ　夢にあふれ　笑顔あふれる学校　】

「〇〇の秋」で実り多き秋に

校長　平山　晃



中津川を渡る風に、澄んだ秋を感じる季節となりました。保護者の皆様、地域の皆様には、日頃より本校の教育活動に温かいご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

朝夕はすっかり涼しくなり、「秋の日は釣瓶落とし」と言われるように日暮れも早くなってまいりましたし「読書の秋」「スポーツの秋」「食欲の秋」など、様々な「〇〇の秋」が似合う時節です。

学校でも、子供たち一人一人が自分なりの「〇〇の秋」に向けて目標を立て、日々意欲的に取り組んでいます。ご家庭でもぜひ、お子様がどんな秋に挑戦しているのか声をかけてみてください。

西郷さんの「敬天愛人」と「郷中教育」に学ぶ

さて、９月24日の南日本新聞をご覧になり、関心をもたれた方も多かったのではないでしょうか。郷土の偉人である西郷隆盛公が1877年９月24日に城山で亡くなられてから、今年で149年となりました。来年は、いよいよ生誕200年、没後150年という大きな節目の年を迎えます。この機会に、西郷さんが残した教えを改めて見つめ直したいと感じています。西郷さんの座右の銘として有名な「敬天愛人（けいてんあいじん）」は、「天を敬い、人を愛する」こと、つまり「道を正しく歩み、自分を偽らず、すべての人に思いやりの心をもつ」という生き方を示した言葉です。また、西郷さんをはじめとする薩摩の偉人たちを育て上げたのが、地域の異年齢の子供たちが支え合い、教え合いながら人としての道を学ぶ「郷中（ごじゅう）教育」の精神です。「負けるな」「嘘を言うな」「弱い者をいじめるな」といった教えのもと、年上の子が年下の子を思いやり、共に成長する郷中教育のあり方は、今の時代にも通じる子育ての原点と言えます。中津川小学校のような極小規模校での学校生活は、異年齢で関わる活動も多く、まさにこの「郷中教育」そのものと言えます。

さらに、鹿児島で昔から親しまれている「泣こかい跳ぼかい、泣こよかひっ跳べ」という言葉も、私にとって大切な座右の銘の一つです。困難に直面したときに、「ぎ（理屈や不平）」を言うより、つべこべ言わずに勇気をもって一歩を踏み出すことの大切さを教えてくれます。変化が激しく複雑な現代だからこそ、これらの教えは子供たちの健全な育成において大切な道標となります。他者と比べたり競ったりすること以上に、「困っている人に手を差し伸べる優しさ」や「お天道様に恥じない行動をとる誠実さ」、そして地域の中で共に支え合う心を育むことが、豊かな人間性の土台となります。ご家庭や地域の中でも、大人が人を思いやる姿を見せること、そして地域全体で子供たちを見守り、小さな親切や頑張りを温かく認めてあげる言葉かけが、西郷さんの教えや郷中教育の精神を次世代へとつなぐ力となります。



生誕200年・没後150年、そして中津川小学校創立150周年へ向けて、学校・家庭・地域が心を一つにし、温かな地域ぐるみの子育てを進めてまいりましょう。今後ともご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

【PTA　道徳授業参観】

10日（木）、５校時に全学年「特別の教科 道徳」の授業参観を行いました。どの学級も、多くの保護者の方々に参観していただき、子供たちもうれしそうでした。また、授業参観のあと、全体ＰＴＡと学級ＰＴＡも行いました。夏休みの反省や２学期の計画、めあて等を確認しました。お忙しい中御出席いただきありがとうございました。２学期もご協力をよろしくお願いします。

１・２年



【ひつじかいのこども】

３・４年



【あの日のこと】

５・６年



【言葉のかたち】

保護者と一緒にリフレイミング



【オリジナル楽器に触れて】



【記念撮影】

【民音主催　Viento(ビエント)　風の音楽(うた)コンサート】



18日（金）の２・３校時に、一般社団法人民主音楽協会様の主催で「民音学校コンサート」を開催しました！今回は音楽ユニット「Viento」の吉川さんと谷口さんをお迎えし、熊本・阿蘇をテーマにしたインストゥルメンタル音楽をはじめ、ベートーベンの名曲や懐かしい童謡などを演奏していただきました。オカリナやケーナをはじめとする珍しい楽器と、その豊かな音色に子供たちは興味津々！曲に合わせて楽しそうに手拍子を送り、目の前で繰り広げられるプロの演奏に引き込まれていました。さらに、普段から使っているリコーダーや鍵盤ハーモニカが奏でるすてきな音色にも「知っている楽器なのにこんなに違うの！？」とびっくり。実際に珍しい楽器を触らせていただく体験コーナーでは、初めて見る楽器に向かって一生懸命に音を出そうとチャレンジしていました。演奏するお二人の楽しそうな表情や迫力ある音を間近で感じ、子供たちの表情も終始いきいきとしていました。芸術の本物に肌で触れるとても豊かな時間を過ごすことができました。「Viento」の吉川様、谷口様、そして開催を支えてくださった「民音」の皆様、すてきなコンサートを本当にありがとうございました！

【韓国　開谷(ケゴク)小学校オンライン交流】

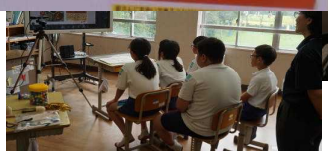
29日（火）の３・４校時、５・６年生が韓国の開谷（ケゴク）小学校の５・６年生とオンライン交流会を行いました。３校時は開谷小学校の５年生と中津川小の５・６年生、４校時は開谷小学校の６年生と中津川小の５・６年生とで行いました。

外国語の学習の一環だったので会話はどちらとも英語で行いました。中津川小の５・６年生は最初は「アンニョンハセヨ！」と韓国語で元気に挨拶し、その後、いただいた郷土玩具のお礼と自己紹介を英語で伝えました。

＜３校時：５年生との交流＞

開谷小学校の５年生が学校や韓国の文化（建物、食べ物、音楽など）を流暢な英語で紹介してくれ、子供たちは集中して聞き入っていました。その後、中津川小が霧島や鹿児島の魅力、そして学校の紹介も英語で行いました。「石橋はいつできた？」「棒踊りは何年前から始まった？」「抹茶は何からできている？」といった中津川クイズは大盛り上がり！





【学校説明を真剣に聴く】



【緊張しながらも英語で魅力発信】

＜４校時：６年生との交流＞

６年生との交流では、まず開谷小学校がある「金浦（キンポ）」について担任の先生から紹介していただきました。名物の「金浦金米（キンポキンマイ）」に 5000 年の歴史があると知り、子供たちはとても驚いていました！中津川小の「滝の高さはどれでしょう？」というクイズには、韓国の子供たちも大苦戦！５年生・６年生ともに最後は質問タイムで終了。貴重な体験の機会を作ってくださった社会教育課の方々本当にありがとうございました。質問タイムの内容等はブログに掲載されています。是非ご覧ください。



【中津川小クイズタイム】

11月 の主な行事予定

１日（日）地域が育む「かごしまの教育」県民週間（～7日）
２日（月）いい歯にっこり中津川っ子週間
・ 給食強調週間（～６日(金)）
学校自由参観日(～６日(金))
３日（火）文化の日
５日（木）ＰＴＡ給食試食会
９日（月）移動図書
14日（土）土曜授業日･･･学習発表会
20日（金）１・２年生　秋祭り・焼き芋
23日（月）勤労感謝の日　子ども読書の日
25日（水）SC(スクールカウンセラー)坂元先生来校
30日（月）人権学習家庭教育学級を兼ねる
（盲導犬学習：講師　西島さん

【不安や悩みに負けないために～SOSの出し方教室～】

28日（月）の５校時、３・４年生が学級活動で「SOS の出し方」について学習しました。今回のめあては「ぼくのなやみ わたしのなやみ」担任の先生と、養護教諭の先生も一緒に入っての授業でした。まずは、「不安や悩みが出てくると同じように心も順調に成長している証拠なんだ」ということを学びました。最後に、担任の先生と養護教諭の先生から、大切なメッセージが送られました。

◎「SOS を出すことは、決して恥ずかしいことではありません。」
◎「あなたの周りには、信頼できる大人が必ずいます。いつでも頼ってくださいね。」

来月には、５・６年生の SOS の出し方教室が計画されています。

【学校参観日の案内】※別プリントで詳細を案内しています

１　期　　間　　令和８年11月２日（月）～６日（金）
令和８年11月14日（土）学習発表会　9:25～11:10です。
（賛助出演：中津川保育園）
２　参観時間　　8:50～13:00　※この時間帯でご自由に参観ください。
※期間中は、いつでも、何度でも参観してくださってもかまいません。